

## 日本スポーツ心理学会第 44 回大会 2 号通信

### ご挨拶

学会員のみなさま、こんにちは。日本スポーツ心理学会第 44 回大会の 2 号通信をお届けします。

今年度の大会は、11 月 24 日（金）から 26 日（日）に、東大阪市の大阪商業大学での開催となります。笑いと商売の大阪から古都奈良へとやや東寄りの東大阪市は花園ラグビー場のあるラグビーの聖地です。スポーツ関連の学会大会に相応しい街だと自負しております。会場となる大阪商業大学の最寄り駅は大阪方面からは近鉄線で河内小阪駅、奈良方面からは八戸ノ里駅、どちらからも 5 分ほどの徒歩圏内です。

久々の関西地方のほぼ真ん中での開催ですので、できるだけ多くの会員のみなさまに参加いただき、研究の発表や、学会および大会企画のシンポジウム、会員企画自主シンポジウム、RTD、WS さらには情報交換会を通して、活発な討議がなされる有意義な大会となりますように、実行委員会一同で尽力いたします。多くのみなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

第 44 回大会委員長 東山 明子（大阪商業大学）

### 1. 大会概要

- 会 期：2017 年 11 月 24 日（金）、25 日（土）、26 日（日）

11 月 24 日（金）には、スポーツメンタルトレーニング指導士資格委員会の講習会・研修会が開催されます。また、会員企画自主シンポジウムも予定しています。

9 月 19 日（火）が大会参加（事前）、一般発表抄録（口頭・ポスター）の受付期限です。

- 会 場：大阪商業大学（東大阪市御厨栄町 4-1-10） <http://ouc.daishodai.ac.jp/>  
近鉄奈良線「河内小阪」駅下車 改札口出て右へ徒歩約 3-5 分  
新大阪駅から地下鉄御堂筋線難波経由または大阪駅から環状線鶴橋経由で約 21 分
- 大会行事：大会企画シンポジウム、学会企画シンポジウム、一般発表（口頭・ポスター）、会員企画自主シンポジウム、RTD、WS など
- 大会日程：図 1 をご参照ください。

	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
11/24 (金)		SMT指導士研修会・講習会									自主シンポジウム		
		9:30-16:30									理事会		
											17:00-19:00		
11/25 (土)		口頭発表A	口頭発表B	昼食	ポスター発表A		大会企画 シンポジウム	総会 学会賞講演	情報交換会				
		9:00-10:30	10:45-11:45	11:45-13:00	13:00-14:30		15:00-16:30	16:45-17:45	18:00-20:00				
11/26 (日)		ポスター発表B	学会企画 シンポジウム	昼食	会員企画RTD/WS								
		9:00-10:30	11:00-12:30	12:30-13:30	13:30-15:00								
受付開始(2,3日目)					受付終了								
受付開始(1日目)													

図1 第44回大会日程

- 大会公式HP : <http://www.jssp44.net/>
- 大会委員会 : 大阪商業大学 東山研究室  
〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学  
TEL : 06-6785-6205 Fax : 06-6781-8438  
E-mail : [jssp44@daishodai.ac.jp](mailto:jssp44@daishodai.ac.jp)

## 2. 参加申し込み

- 参加申し込みは「Web 登録」のみとなります。**9月19日(火)まで**に大会公式HP上の「大会参加申し込み」フォームから事前登録をお済ませください。
- 各種申込を行う際、大会参加、情報交換会参加、抄録集購入、SMT指導士研修会参加、それぞれについてお知らせください。
- 口頭・ポスター発表を希望される方は、以下の「3. 口頭・ポスター発表申込み」をご参照の上、発表申込みを必ず行ってください。

## 3. 口頭・ポスター発表申込み

- 口頭・ポスター発表申込みは「Web 登録」のみとなります。9月19日(火)までに大会公式HP上の「大会参加申し込み」フォームから事前登録をお済ませください。

- 発表申込みに際しては、希望発表区分を選択してください。

1. ポスター発表
2. 口頭発表 (口頭発表が不可の場合は、ポスター発表とする)
3. 口頭発表 (口頭発表が不可の場合は、発表を取り下げる)

※大会運営の都合上、口頭発表の受け入れ数に制限がありますので、お含みください。なお、2. あるいは3. でお申込みされた方の受付結果につきましては、申込み締め切り後できるだけ早い時期に、Eメールでご連絡いたします。

- 発表抄録は、抄録のテンプレートをダウンロードの上、指定した様式で作成してください。
- 発表抄録のアップロードは、**PDF形式のファイルに限ります。**
- 申し込み後の抄録の差し替えや修正等は、9月19日(火)までは何度でも可能です。

- 必ず大会参加申し込みをお済ませください。参加申込み・発表申込みの両方の手続きにて発表申込み完了となります。
- 以下の2点に該当する場合は発表を取り下げていただく場合があります。ご来場されるか否かに関わらず、共同研究者分の参加費の払込が必要です。
  - ・筆頭発表者が日本スポーツ心理学会員でない場合
  - ・9月19日（火）までに発表者（共同研究者を含む）の大会参加費納入が確認できない場合
- パソコンのOSはWindows7です。PowerPoint2007Proが利用できます。プロジェクターの端子はDsubです。Macをご利用の場合はご自分でご用意ください。ただし、大会企画シンポジウム、学会企画シンポジウム、総会の会場および自主シンポジウムの内の1つの会場は、PowerPoint2010Pro、プロジェクターの端子はDsubとHDMIが使用できます。
- もし発表を取り消される場合には、必ず抄録も削除してください。9月19日（火）を過ぎてからの取り消しの場合は、大会委員会にご連絡ください。

#### 4. 大会参加費の支払い

- 参加費の納入は、同封の払込取扱票にて行ってください。Web ページから参加申込みを行った後、参加費の納入をもって手続きが完了となります。どちらか一方のみでは完了となりません。
- 参加費の納入も9月19日（火）までに行ってください。納入が9月19日（火）を過ぎると当日参加料金となります。
- 9月19日（火）以降の申込みについては、当日参加料金となります。
- 共同研究者がいる場合は、共同研究者の来場の如何に関わらず、Web 登録と参加費納入を必ず行ってください。
- 参加費の納入（入金）に際しては、1名について払込取扱票1枚を使用してください。1枚の取扱票で複数名の払込はしないでください。
- 同封の「ゆうちょ銀行払込取扱票」のチェック欄（表1）をご参照ください。ご希望項目にチェックをしたうえで合計金額をお支払いください。
- 大会本部が用意した「ゆうちょ銀行払込取扱票」をお持ちでない方（紛失を含む）は、下記の通り払込ください。

#### ☆ 郵便局備え付けの「ゆうちょ銀行払込取扱票」をご利用の場合

<払込み先>

口座種類：ゆうちょ銀行 振替口座

口座記号番号：00910-2-332999 番

口座名称：日本スポーツ心理学会第44回大会実行委員会

【重要】通信欄に、以下の情報を正確にご記載ください。

- 1) 会員種別：一般会員、学生会員、非会員
- 2) 情報交換会費：一般会員、学生会員、非会員
- 3) 抄録集購入費：冊数
- 4) SMT 指導士研修会参加費：一般会員、学生会員、資格取得者
- 5) 合計金額

表1 ゆうちよ銀行払込取扱票チェック欄

※該当する金額に○をしてください

		大会参加費			情報交換会			SMT指導士研修会				
		事前申し込み	9月20日以降		事前申し込み	9月20日以降		事前申し込み				
会員	一般	¥7,000	○	¥9,000	○	¥5,000	○	¥6,000	○	一般会員	¥5,000	○
	学生	¥3,000	○	¥4,000	○	¥2,500	○	¥4,000	○	学生会員	¥4,000	○
非会員 (一般、学生の区別はありません)		¥9,000	○	¥10,000	○	¥5,000	○	¥6,000	○	資格取得者	¥3,000	○
研究発表抄録集		¥2,000	○	( )冊	合計金額( )円							

☆ 他銀行等をご利用の場合

<払込み先>

銀行名：ゆうちよ銀行

店名：四〇八（読み：ヨンゼロハチ）

預金種目：普通

口座番号：4983396

口座名称：日本スポーツ心理学会第44回大会実行委員会

【重要】会員種別等の情報を記載する必要はありません。

※ **注意事項**

会員の大会参加・発表には、学会の年会費の納入が必要です。

学会年会費の支払先は、日本スポーツ心理学会の口座であり、大会参加費の納入先とは異なりますので、ご注意ください。

5. 大会企画・学会企画（開催日時順）

■大会企画シンポジウム 日時：11月25日（土）15：00～16：30

「こころと身体の調整力」

話題提供者：

植 田 辰 哉（大阪商業大学特任教授：元バレーボール全日本男子代表監督）

横 山 喬 之（摂南大学講師：世界柔道形選手権・投の形5回優勝・3連覇）

進 行：

東 山 明 子（大阪商業大学教授、スポーツメンタルトレーニング上級指導士）

概 要：「志があり、目標を持ち、上を目指す」ということは、アスリートにとっては当たり前のことである。しかし、競技を続けるさまざまな流れの中で、その当たり前のこ

とが揺らぐこともあれば消滅することもある。

本大会シンポジウムでは、スポーツの世界で高い目標を持ち、達成してきた実績のあるお二人を招いて、こころと身体の調整力というテーマでお話を伺う。

植田辰哉氏は、ご自身も高校、大学、社会人を通してバレーボールで華々しい活躍をされ、1992年バルセロナオリンピックでは全日本男子バレーボールのキャプテンとして活躍された。その後、指導者となり、2005年全日本男子代表監督に就任し、アジア選手権での2度の優勝、北京オリンピック出場等の高い成績を挙げられた。個性豊かな選手たちをチームとしてまとめ、結果を残すパフォーマンスを発揮させるためにどのような働きかけをされたのか、選手たちのこころをどのように育まれたのか、競技パフォーマンスとこころの調整のさせ方等についてのお考えを指導者としての立場から伺う。

横山喬之氏は、世界柔道形選手権で2011年、2012年、2014年、2015年、2016年と5度の優勝を挙げ、3連覇を達成されている現役アスリートであり、指導者でもある。幼少時から柔道を始め、柔道選手として紆余曲折を経て、形の世界で世界チャンピオンとして君臨されている。さまざまな困難や挫折があり、その中でも柔道の世界の中に生きる場所を定めて、偉業を成し遂げるに至ったこころの持ち様について、またその心はいかにして育まれたのかについて、現役アスリートとしての立場と指導者としての立場からお話を伺う。

進行役を務める東山明子氏は、スポーツメンタルトレーニング上級指導士資格を有し、弓道や射撃から始まって、アメリカンフットボールやサッカーや駅伝など、様々な競技選手やチームのメンタルサポートに関わってきた。話題提供者お二人の卓越したこころの世界を参加者のみなさまのもとに共有し、アスリートにとっても指導者にとっても、明日からのトレーニングや指導や日々の生活に役立つヒントを得たいと期待している。

2020年東京オリンピック・パラリンピックが目先に迫ってきているこの時期でもあり、一般の方々のトップアスリート・指導者やスポーツ科学への関心も高まってきている。そこで、学会員だけではなく、広く一般市民にも本シンポジウムを公開し、スポーツ科学の普及発展に貢献することを望んでいる。

## ■学会企画シンポジウム 日時：11月26日（日）11：00～12:30

### 「スポーツ心理学と学校体育」

話題提供者：佐藤 豊（横浜桐蔭大学）

藤田 勉（鹿児島大学）

岡野 昇（三重大学）

司 会：兄井 彰（福岡教育大学）

概 要：学校体育においては、スポーツ基本法が施行（2011年8月24日）されてから初めて、学習指導要領の改訂（2017年3月31日告示）が行われた。これまでと同様に、生涯スポーツの持つ価値の重視に加え、オリンピック・パラリンピックに関連したフェアなプレイを大切にするなどスポーツの意義の理解についても重要事項として示されてい

る。また、新学習指導要領では、「主体的・対話的な、深い学び」の充実が教科横断的に掲げられている。また、体育科、保健体育科で育成を目指す3つの資質・能力として「知識・技能」に加えて、「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」が挙げられている。これらは、スポーツ心理学で扱っている内容と重なる部分が多い。このことから、今後、学校体育においてスポーツ心理学が寄与できる可能性が拡大すると考えられる。また、学校体育で立ち現れる事象は、興味深い心理学的な研究対象であり、このような事象に関する研究で明らかになった心理学の研究上の成果をどのように体育の現場に還元していくのかもスポーツ心理学と学校体育を考える上で重要な視点となろう。

そこで、このシンポジウムでは、学校体育に深く関与している研究者からスポーツ心理学はどのように見られているのか、スポーツ心理学が明らかにしてきた知見が学校体育でどのように活用できるのか、あるいは、学校体育が抱えている課題に対してスポーツ心理学がどのようにアプローチできるのかといった問題などについて議論し、両者の関わりから、これからのそれぞれ方向性や相互にどのような寄与がなし得るのかについて明らかにできればと考えている。

## 6. スポーツメンタルトレーニング資格委員会資質向上部門の研修会・講習会のご案内

### 平成 29 年度スポーツメンタルトレーニング指導士研修会のお知らせ(第一報)

日 時：平成 29 年 11 月 24 日（金）9：00 受付 9：30～16：00

場 所：大阪商業大学 re-Act 3F セミナールーム 1-2

参加資格：日本スポーツ心理学会会員であること。なお、参加者には、日本スポーツ心理学会認定「スポーツメンタルトレーニング指導士」の資格認定ならびに更新に関わるポイントとして2ポイントが与えられます。

申込み：学会大会の参加申し込みと合わせて申し込んでください。

当日、申込をしたことが確認できるものを受付に提示してください。

締 切：学会参加申込期限と同日。定員（100名）に余裕のある場合は、当日の参加受付も行います。

参加費：学会員	5,000 円	（当日：6,000 円）
学会員（学生）	4,000 円	（当日：5,000 円）
資格取得者	3,000 円	（当日：4,000 円）

プログラム：（一部変更になる場合もあります。詳細は HP にてご確認ください）

9:30 開会の挨拶 資格委員会委員長 土屋 裕 睦（大阪体育大学）

9:40～ 9:50 資質向上部門の役割等説明

資質向上部門長 武田 大 輔（東海大学）

9:50～12:00 研修1：レクチャー

## 他領域から学ぶ～「多職種が連携する現場での心理職の働き方」

講師：日 置 千 佳（あざみ野心理オフィス）

講師は、臨床心理士として学校現場に入り、生徒、教員、保護者などの様々な人間関係がある中で、心理職の専門家としての仕事を経験されています。スポーツの現場でも選手、コーチ・スタッフとの関係があるように、共有できるテーマがあります。講師の体験を交えて、心理職が現場で働く際の基本的な留意事項を講義していただく予定です。

13:00～15:50 2つの研修プログラムを同時に開催します。2A 事例検討会への途中参加・退席は認められません。

### 研修 2A：事例検討会（資格取得者限定）

司会：未定 指定討論者：未定

事例提供者：未定。事例提供者を募集しております。事例提供を希望する方は、武田まで連絡をお願いします（[takedai\\_1975@mac.com](mailto:takedai_1975@mac.com)）。

### 研修会 2B：レクチャー

#### 心理サポートの実践を検討する―“物語”としてよむための準備とその意義―

講師：小 谷 克 彦（北海道教育大学旭川校）

心理サポートの実践を検討することは、専門家としての実力を高めるために必須となる取り組みですが、心理サポートのデータや資料をただ羅列するだけでは検討をすることはできません。

本レクチャーでは、サポート記録を取る際の留意点や検討するための準備、そしてそれらを研究につなげるための工夫などを講義していただく予定です。

15:50～ 修了式及び受講証明書配付（アンケートと引き換え、各教室毎）

### その他連絡事項：

- 1) スポーツメンタルトレーニング指導士研修会と同時刻に「スポーツメンタルトレーニング指導士資格取得講習会」を開催します。書類審査に合格した方のみが受講できます。該当者（書類審査合格者）には資格委員会より日時、講習内容等を後日ご連絡いたします（参加手続き、参加費納入等は学会申し込みとは異なり、資格委員会が窓口となっています）。
- 2) ご不明な点は、資格委員会事務局（[jssp\\_mtc@yahoo.co.jp](mailto:jssp_mtc@yahoo.co.jp)）までご連絡ください。